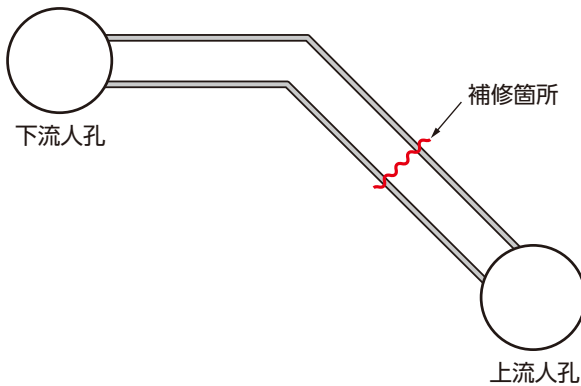


施工実例 部分補修（光硬化）

3 部分補修（光硬化）… 両端人孔が利用できず、片側からの施工

状況

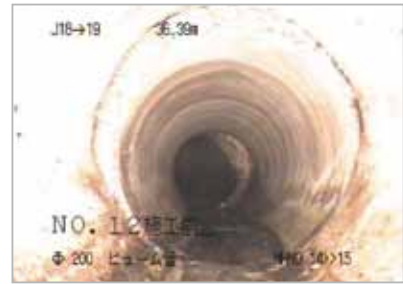
φ200の管路の途中に45度の曲がり部分があったため、下流人孔からはカメラも施工機も入らない。



対策

上流人孔のみを利用して施工を行った。あらかじめ補修箇所のおおまかな距離を調べておき、補修材を巻いた施工機を挿入。補修箇所よりも奥（下流側）に留めておき、自走カメラを挿入。カメラ映像を確認しながら位置合わせを行った。

施工前



施工後

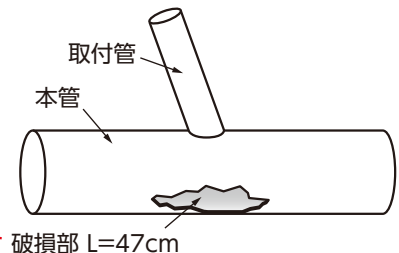


4 部分補修（光硬化）… 更生管の前処理工

φ300 コンクリート管

状況

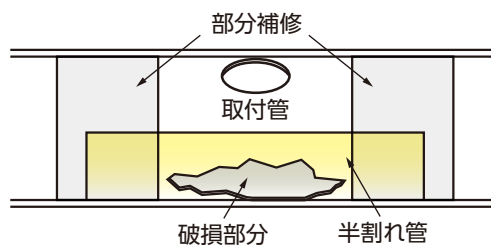
φ300 更生予定の管きよの底部に大きな破損箇所があり、移動式カメラや材料の引き込み時に支障をきたすおそれがあった。



*半割れ管を管きよ内に挿入し、両端を部分補修で固定する。

対策

事前に部分補修材料で、半割れ管を作成。



端部の固定



半割れ管の挿入



前処理完了



更生施工後

大きな破損部分のディンプルも発生せず、綺麗に仕上がった。